

佐井寺西土地区画整理事業に係る環境影響評価  
事後調査報告書（令和5年度版）の概要

環境部環境政策室

## 1 内容

令和5年度（2023年度）に行われた佐井寺西土地区画整理事業に係る工事について、事後調査計画書（令和3年（2021年）10月）に基づいて事業者が実施した事後調査の結果及び環境保全措置の実施状況をとりまとめている。

工事中の事後調査報告書は、通常工事終了後に提出するが、本事業は工事期間が数年にわたるため、年次状況報告書を毎年度本市へ提出することになっている。

## 2 受理日

令和6年（2024年）6月28日（金）

## 3 事業者

吹田市

## 4 報告の概要と所見

## (1) 大気汚染

建設機械の稼働及び工事関連車両の走行による大気汚染の推計結果は、環境基準及び吹田市の目標値から設定した評価の基準値をそれぞれ下回っている。以上のことから、環境影響評価書における予想の範囲内になっており、特に問題ないと考えられる。

## (2) 騒音・振動

建設機械の稼働及び工事関連車両の走行による騒音・振動の調査結果は、環境基準及び吹田市の目標値から設定した評価の基準値をそれぞれ下回っている。以上のことから、環境影響評価書における予想の範囲内になっており、特に問題ないと考えられる。

## (3) 交通混雑・交通安全

本事業の供用による交通への影響を確認するため、工事関係車両の走行ルート沿道において自動車交通量調査を実施した。調査の結果、工事関係車両の走行による交通量の増加率は約2%と低く、環境影響評価書における予測の範囲内となっており、特に問題ないと考えられる。

## (4) 動植物・生態系

動物については、近隣の小学校のピオトープに移動した保全対象種の生息状況についてモニタリングを実施した結果、繁殖が確認された保全対象種はあったが、一部の保全対象種は個体数が減少しており定着できていなかった。そのため、一部の保全対象種の生息地は工事未着手であったことから、追加の移動を行い、移動先の環境に適應できるよう併せて保全対策を実施した。

植物については、移植した保全対象種の生育状況についてモニタリングを実施した結果、移植先で生育が確認された。タシロランについては、生育地が工事未着手であったことから、追加の播種及び塊茎移植を行った。来年度も引き続きモニタリングを行う予定である。

本市は、移動、移植後のモニタリングや特定外来生物の駆除など、環境影響評価で事業者が実施することとなっている評価、対策の確実な履行を求めていく。

(5) 環境取組内容の実施状況

工事の実施にあたっての環境保全措置について、令和6年3月末時点の実施状況を示している。

本市は、環境保全措置の実施内容について、調査結果をもとに検証し、その履行状況を確認している。

5 今後の対応

本市は、事業者に対して、環境保全目標の達成や基準値の厳守はもとより、さらなる環境対策を求めることで、市民にとって良好な環境が保全されるよう指導していく。